

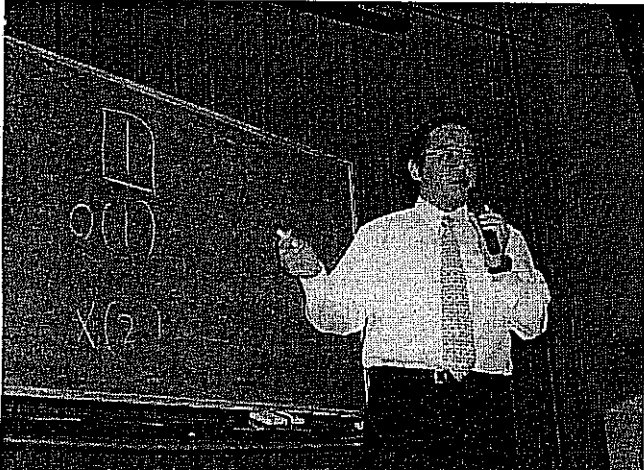
塾経営者が学習法について講演

松江中学校

草加市立松江中学校（籾木良夫校長）は六月二十五日、同校の評議員を務める花まる学習会・スクール代表の高濱正伸氏（塾経営者）を講師に招き、全校生徒・保護者・教員を対象に「学習法講座」の一環として講演会を開催した。

熱心にメモを取っていた。当日は、学習の基本サイクル、学力の伸びる人と伸びない人、数学のノートを使い方などを講演。数学の学習法では授業ノートのほ

自習やノートの使い方などを中心に話した高濱氏は冒頭、「小学生の時に母親がやる気をつぶす」「九九が解答のマル付けをして終わり。出来なかったこと理由を明確にすることが大事なの……」など教師や保護者に厳しい意見も出されたが、参加した母親や教師は



ノートの使い方などについて講演する高濱正伸氏

か、次から次に問題集の問題を解いたり反復したりする「演習ノート」、できなかったことを次にできるようにする「復習ノート」、必要な「知識」「発想法」「注意すべき点」などをまとめた「知識ノート（中三用）」等について、その活用法を分かりやすく説明した。

参加した保護者からは、「塾の先生が、学校で全校生徒・先生方・保護者を対象に講座を開くということが画期的であり、驚きました」「お話しが授業や自習ノートの使い方など生徒にとって具体的で、即実践できる内容なので保護者としても非常に参考になりました」などの感想が聞かれ、同校では今後、こうした講演会を一学期に一回は開いていく考えだ。